

大雨に備えて

東北や北陸で8月3日から8月4日にかけて続いた記録的な大雨では、豪雨を降らせる線状降水帯が山形県や新潟県など5県で発生しました。線状降水帯が広い範囲で頻発するのは異例で、6県で54万人が一時避難対象になりました。大雨や洪水に関する警報、土砂災害警戒情報など大雨に関する情報に加え、線状降水帯予測が発表された場合は、避難情報を確認し、早めの避難を心がけてください。

警戒レベル	避難情報
5	緊急安全確保
～警戒レベル4までに避難～	
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意報 (気象庁)

レベル1は、最新の防災気象状況などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。

レベル2は、ハザードマップなどで災害の危険性がある区域や避難場所、避難経路、避難のタイミングの再確認など、避難に備え、自らの避難行動を確認しておきましょう。

レベル3は、避難に時間がかかる高齢者の方や障がいのある方、避難を支援する方は安全な場所へ避難しましょう。また、土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方も、準備が整い次第、この段階での避難が強く望まれます。

レベル4は、危険な場所にいる人は、全員避難が必要です。対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難してください。

レベル5は、すでに災害が発生しているか、切迫している状況で安全な避難ができず命が危険な状況です。レベル5になってからは、安全な避難が難しい状況です。自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保するための行動をとるようにしましょう。

警戒レベル5の発令を待ってはいけません。このため、遅くともレベル4で避難をしなくてはなりません。自治体から発表される情報に注意をして下さい。

水害から身を守る

明日は、晴れか、それとも雨か。テレビで、PCでスマホで、天気予報を見る機会は多いはず。でも、川が氾濫する危険を知らせる「**洪水予報**」を知っていますか？山形県を流れる最上川で発生した洪水では、甚大な被害が発生しました。自宅で、出かけた先で、川が氾濫する前に避難するためにも、**洪水予報**を確認することや川の水位・状況を把握しておくことがとても大切です。

雨になったら「川の防災情報」
～逃げ遅れないために～

国土交通省が運営する防災ポータルページです。気象・河川・土砂災害などを一画面でまとめて確認出来ます。掲載情報は、レーダ雨量・気象警報・注意報・水位情報・浸水の危険が高まっている河川・洪水予報等をリアルタイムで確認出来ます。

いろいろな情報が手に入る「川の防災情報」ですが、水害の被害にあわないようにするため、雨が降ったらまずこの3つを要チェックです。

- 洪水予報
- 川の水位
- カメラ画像



みんなカワボウで!!

- ①雨になったら要チェック
- ②雨が降る前にできる「備え」
- ③スマホで持ち歩く水害の備え



スマホ版はコチラ

令和4年度

河川功労者表彰 水門等水位観測員表彰

長年にわたり水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には、昼夜を問わず速やかな樋門の操作を行うなど、災害の軽減に貢献された方へ表彰を行いました。表彰された皆さん、おめでとうございます。

河川功労者表彰

46年間観測員として従事
矢口 喜一郎さん
(川口第一排水樋管)

45年間観測員として従事
阿部 一則さん
(真室川第二排水樋管)

局長表彰

(20年間観測員として従事)
庄司 政史さん
(岩清水第一排水樋管)

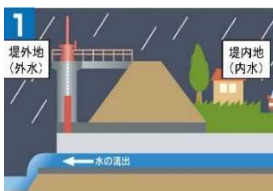
事務所長表彰

(15年間観測員として従事)
岸田 秀雄さん
(真室川第一排水樋管)
山科 和英さん
(岩清水第二排水樋管)



水位観測員の仕事とは・・・

大雨が降ると、川の水がどんどん増えて水位が高くなります。その水が住宅地や田んぼなどに流れないようにするには、樋管のゲートを閉めなければなりません。また、川の水が普通の状態に戻ったときは、住宅地や田んぼから流れる水路の水が溢れないように樋管ゲートを開く必要があります。その際に樋管ゲートを開けたり閉めたりする仕事をしているのが水位観測員なのです。地域の安全と財産を守るとても大切な役割を果たすお仕事です。



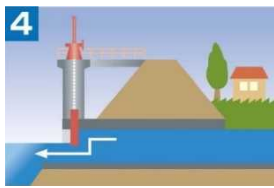
①大雨が降るとたくさんの水が川に流れ込むため川の水位が上がってきます。



③水位が高い間はゲートを閉め続けています。



②川の水が住宅地や田んぼに流れてくるのでゲートを閉めます。



④雨がやんで川の水位が下がったら、ゲートを開け水路の水が溢れないように川の方に流します。

真室川まつり花火大会

8月17日(水)に真室川まつりが開催されました。まつりでは真室川音頭パレードや神輿渡御など様々なイベントが行われ、まつりを締めくくる「真室川まつり花火大会」が真室川河川敷で開催されました。あいにくの雨でしたが、真室川の夜空いっぱい咲いた大輪の花に、たくさんの観客が魅了されていました。



撮影場所 新橋周辺